

近年の気候下におけるナシ「新高」「甘太」の生態及び果実品質			
[要約] 近年の気候下においてナシ晩生品種「新高」はみつ症が多発傾向である一方、収穫期が同時期の「甘太」は果肉障害重症果の発生が少なく、近年の気候下でも果実品質が安定している傾向である。			
茨城県農業総合センター園芸研究所	令和6年度	成果区分	技術情報

1. 背景・ねらい

ナシ「新高」は本県で栽培されている晩生品種の代表格であり、令和6年産はJAグループ茨城管内から約420tが出荷され、出荷量全体の約7%を占める。しかし近年の夏季高温により、県下全域でみつ症を中心とした果肉障害の発生が目立ち、正品出荷量の減少や品質不安定が懸念されている。一方、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構が育成し、平成27年3月に品種登録された「甘太」は収穫期が「新高」と同時期で、食味の良い晩生品種として期待されている。本成果では、品種選択を検討するうえでの参考情報として、園芸研究所内ナシほ場植栽の「新高」及び「甘太」について、直近10か年（平成27年から令和6年）の生態や果実品質等について報告する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 直近10か年における開花盛は「新高」が「甘太」よりも4日早い。また収穫期は「新高」が9月18日から10月4日、「甘太」が9月19日から10月10日であり、収穫期間は「甘太」の方が5日程度長い。（表1、2）
- 2) 「甘太」の果実品質は「新高」に比べ、硬度が低く、糖度が高く、pHがやや低い傾向である（表1、2）。
- 3) 平成30年産以降、「新高」ではみつ症果の発生率が50%前後である年が多くみられ、令和5年産では収穫果の半数近くが重症果で占められている。「甘太」ではみつ症果が20%以上発生する年も確認されているが、いずれの年も重症果発生は「新高」に比べると少ない。（表3）

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 本成果データは園芸研究所果樹研究室ナシほ場植栽の成木樹に基づく。
- 2) 開花盛とは全体の80%（目安：短果枝100%、長果枝50%）の花が開花した日を、収穫始期とは適熟果の最初の収穫日で（ヤケ果を含まない）、連続して収穫を開始した日を指す。

4. 具体的データ

表1 ナシ「新高」の生態及び果実品質（笠間市安居）

年	開花期			収穫期		一果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	pH
	始	盛	終	始	終				
H27	4/12	4/15	4/22	9/18	10/2	589	4.8	11.4	4.69
H28	4/10	4/14	4/21	9/21	10/4	657	5.9	11.6	4.87
H29	4/17	4/19	4/25	9/25	10/12	503	5.3	10.9	5.23
H30	4/4	4/7	4/11	9/18	10/14	675	5.3	12.1	4.49
H31	4/14	4/16	4/23	9/26	10/1	597	5.0	11.7	4.94
R2	4/2	4/4	4/13	9/17	9/29	620	5.3	12.6	5.02
R3	3/30	4/2	4/8	9/14	9/28	597	5.1	11.4	4.70
R4	4/9	4/12	4/19	9/27	10/11	556	6.3	13.1	4.90
R5	3/31	4/2	4/8	9/7	9/30	656	6.1	12.4	5.25
R6	4/9	4/12	4/16	9/13	9/31	745	6.7	12.2	5.27
平均	4/7	4/10	4/16	9/18	10/4	620	5.6	11.9	4.94

表2 ナシ「甘太」の生態及び果実品質（笠間市安居）

年	開花期			収穫期		一果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	pH
	始	盛	終	始	終				
H27	4/17	4/18	4/24	9/18	10/13	576	3.7	13.1	4.61
H28	4/15	4/17	4/26	9/29	10/18	519	4.6	13.2	4.57
H29	4/21	4/24	4/30	9/20	10/20	605	4.0	13.1	5.00
H30	4/7	4/10	4/15	9/18	10/10	614	4.3	13.7	4.26
H31	4/17	4/19	4/26	9/26	10/21	515	4.1	13.5	4.71
R2	4/9	4/14	4/22	9/14	10/7	543	4.7	14.4	4.73
R3	4/3	4/6	4/18	9/13	9/29	422	4.4	13.5	4.70
R4	4/11	4/13	4/22	9/27	10/14	573	4.7	13.3	4.75
R5	4/3	4/5	4/10	9/14	10/2	506	5.1	13.1	5.03
R6	4/12	4/16	4/23	9/19	10/4	591	4.4	12.8	4.97
平均	4/11	4/14	4/21	9/19	10/10	546	4.4	13.4	4.73

表3 ナシ「新高」及び「甘太」の果肉障害発生（笠間市安居）

年	樹齡	果肉障害発生率(%)						
		新高／甘太	新高・みつ症 ¹⁾		甘太・みつ症		甘太・コルク状	
			全体	重症果	全体	重症果	全体	重症果
H27	27／ 9	5.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	
H28	28／10	28.6	－	0.0	0.0	0.0	0.0	
H29	29／11	10.0	－	0.0	0.0	0.0	0.0	
H30	30／12	41.6	－	7.8	0.0	0.0	0.0	
H31	31／13	56.6	－	3.3	0.0	3.3	0.0	
R2	32／14	20.0	－	6.2	0.0	0.0	0.0	
R3	33／15	57.5	－	18.0	0.0	0.0	0.0	
R4	34／16	53.3	13.3	16.7	0.0	0.0	0.0	
R5	35／17	64.2	46.5	20.0	0.0	0.0	0.0	
R6	36／18	45.1	22.6	8.6	0.7	3.3	0.3	

※「新高」のみつ症はクレーム対象とみなされる障害程度を重症果とし、「甘太」の調査方法は「あきづき」及び「王秋」の調査方法に準じた。

1)表中の「－」は未調査であることを示す。

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

果樹推奨品種決定と生態収量予測・令和5～9年度・果樹研究室